

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年12月13日（火）

2 確認箇所

事務本館

3 確認項目

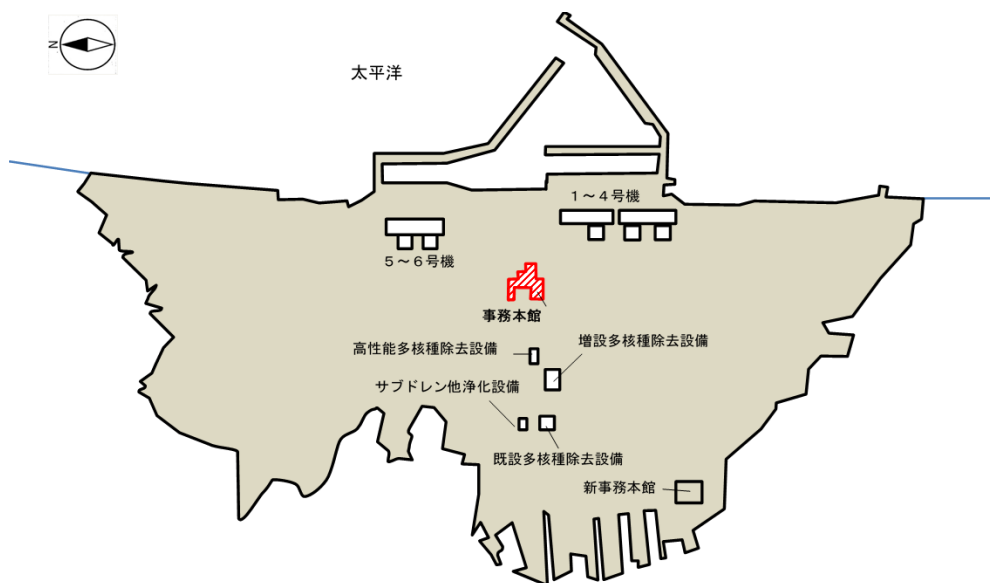
3号機使用済燃料プール内の制御棒等高線量機器取り出しの状況

4 確認結果の概要

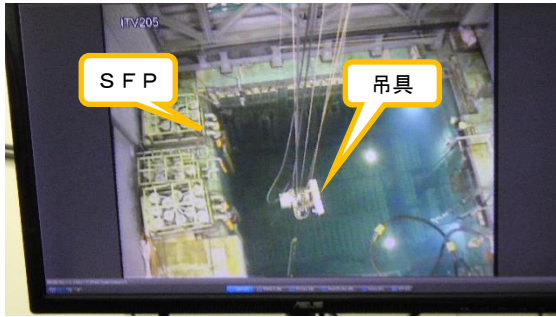
東京電力は3号機使用済燃料プール（以下「SFP」という。）に貯蔵している制御棒等の高線量機器の取り出しを今年度の下期より開始する計画としており、本日は、その作業状況を確認した。（図1）

なお、高線量機器の取り出しはクレーンを主に使用し、遠隔操作による無人作業で実施することから、遠隔操作室内でその状況を確認した。

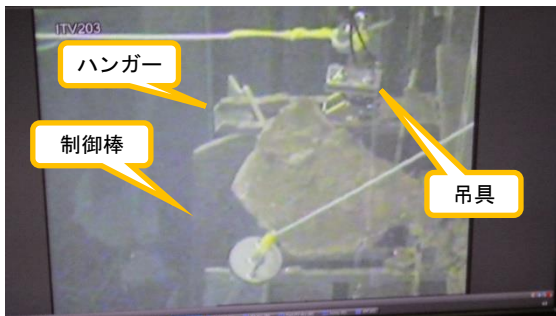
- ・本日は、作業員が遠隔でクレーンを操作し、SFP内のハンガーに保管されている放射化されていない制御棒に吊具をかけ、構内輸送容器（キャスク）に装填する操作性の確認を実施していた。（写真1、2）
- ・東京電力によると、高線量機器の取り出しは、制御棒の取り出しから開始し、3号機燃料取り出しに使用した構内輸送容器等を使用して既設サイトバンカや固体廃棄物貯蔵庫へ輸送、保管する計画としている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
SFP及びクレーンに取り付けられた吊具の状況



(写真2)
SFP内のハンガーに保管されていた放射化されていない制御棒及び吊具の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。